

令和6年度(2024年度)市民参加の取組みについて

(1) 無作為抽出方式による市民参加推進員の登録について・・・資料2-2

- ・多様な市民、特に次代を担う若い世代の意見等を市政に反映させるため、久喜市市民参加推進員（まちづくりサポーター）の公募方法に無作為抽出方式を追加する。
- ・従来の手上げによる公募方法では登録しなかった新しい人材の市民参加の促進が期待できる。
- ・まちづくりサポーターを積極的に活用することで、多様かつ幅広い世代への市民参加の機会の拡大が期待できる。

(2) 附属機関の会議の開催方法について

- ・オンラインによる会議開催を導入することで、自宅や外出先など、どこからでも会議への参加が可能となることから、より多様な市民の意見や視点を取り入れることができるため、会議の質の向上が期待される。
- ・附属機関の会議をオンラインで開催する方法について検討中。方針（案）については、現在関係各課と協議中。
- ・令和6年度（2024年度）第2回自治基本条例推進委員会において、オンライン会議を施行し、方針（案）に反映する予定。

(3) 市民参加しやすい環境作りの検討

- ・令和6年度（2024年度）第1回自治基本条例市民参加推進委員会において、託児を利用。
- ・令和7年度(2025年度)の自治基本条例推進委員会の会議においても、託児を利用できるよう報償金を予算要求。

(4) 若い世代と市長との座談会の開催・・・資料2-3参照

- ・令和6年(2024年)12月14日に、市内在住の二十歳の成人式の対象者及び大学生8名と市長との座談会を開催し、4つのテーマについて市長と意見交換を行った。(1名はオンラインで参加)